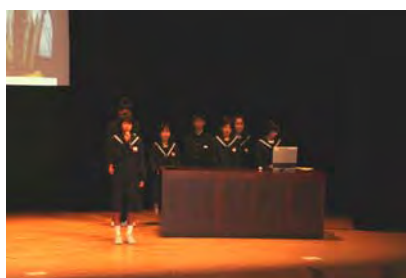


平成19年度 土岐川流域グリーンベルトフォーラム

平成19年12月9日に行われたフォーラムは、土岐川流域直轄砂防70周年を記念し、土砂災害と緑の関係等についての基調講演並びに豊かな森を整備することの重要性や森での楽しみ方についての意見交換を通じて、一般住民にグリーンベルト・樹林整備事業への理解と関心を深めていただくとともに、さらに一歩進んで地域住民が自分たちの手で地域の理想の森を作っていく活動に参加するそのきっかけとなることを目指すものです。

樹林整備活動の発表



『2020年笠原の森プロジェクト～生徒達が親になった頃、子供の手をひいてあるけるような憩いの森づくり～』をテーマとしての活動の発表を行いました。

吹奏楽演奏



多治見笠原中学校吹奏楽部の演奏が行われました。

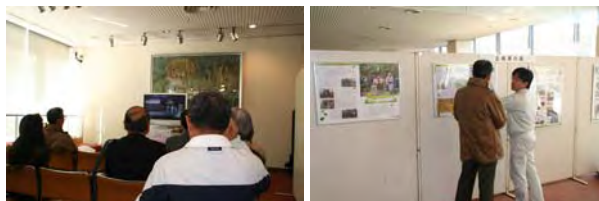


パネルディスカッション



『豊かな森をみんなで育てる』についてのパネルディスカッションが行われました。

展示コーナー



展示コーナーでは土石流3D簡易シアター上映(左)、樹林活動パネルを展示(右)

平成19年度『笠原の森』中学校の報告

第2回 森林予備調査

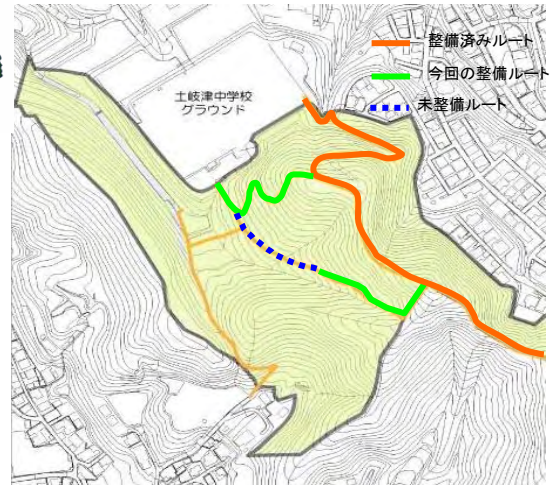
樹林調査

笠原の森(上原・森下地区樹林地)では、平成19年12月4日第2回森林予備調査が行われました。手作りの道具を持ち実際森に入って、温度・照度・毎木調査が行われました。



平成19年度『土岐津の森』中学校の報告

H19.11～土岐津の森での取り組み



土岐津の森では、平成17年度より土岐津地区で開催された活動に関する準備会などに参加し、平成18年度より土岐津中学校の生徒による本格的な活動が開始されました。

平成19年11月30日、土岐津の森にて、『土岐津の森の植物』について観察会が行われました。また、平成19年12月15日、『第1回樹林整備活動』で間伐作業が行われました。

観察会

土岐津の森の植物



観察会では、整備した際切る木・残す木の名前を覚えるを目的に、支援メンバー協力のもと3班に分かれ、植物ハンドブックを用いて、葉・幹・実の観察、ネームプレート設置、観察終了後・グラウンドにて植物クイズが行われました。

第1回 樹林整備活動

間伐作業



、『間伐体験を行い、明るい森を作ろう』を目的に落葉樹は残し、常緑樹の間伐作業を行い、間伐前・間伐後の森の様子を観察し、各班に分かれ反省会、感想発表が行われました。

土岐川流域グリーンベルト整備事業は、多治見市・土岐市の緑を対象とし、市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯（グリーンベルト）として、保全・創出することにより、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。

作成者・お問い合わせ先
国土交通省 中部地方整備局
多治見砂防国道事務所

〒507-0804 岐阜県多治見市坂上町6-34
TEL : (0572) 25-8024
<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>